

平成28年度第2回ゆりはま創生総合戦略会議 議事録

日時 平成28年12月5日(月) 13時30分～15時07分
場所 湯梨浜町役場 講堂
出席者 中島 守、西本 稔、坂田 康則、宮脇 正道、山田 修平、井土 美智子、山村 靖、
若山 敬之、小野寺 仁史、佐伯 健二、森田 宏樹
(欠席者：遠藤 公章、加藤 一、野口 智恵子、杉本 貴美子)
事務局 副町長 仙賀 芳友、副町長 山根 孝幸、教育長 土海 孝治、
みらい創造室長 岩崎 正一郎、係長 船木 宣孝、主事 會見 典恵、
主事 谷岡 雅也、
総務課長 蔵本 知純、議会事務局長 川本 栄二、出納室長 川田 信行、
建設水道課長 小林 長志、産業振興課長 前田 啓嗣、企画課長 森 輝信、
町民課長 重松 雅文、子育て支援課長 丸 真美、総合福祉課長 米増 誠、
健康推進課長 瀬戸 隆行、長寿福祉課長 竹本 恵子、教育総務課長 西原 信男、
生涯学習・人権推進課長 山田 昭彦、中央公民館長 富山 弘道、
国民宿舎水明荘支配人 中山 明、
鳥取県中部総合事務所地域振興局参事 中本修(コンシェルジュ)
(欠席者：図書館長 尾嶋 敏彦)

1. 開会

(副町長)

こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

本日進行役をさせていただきます、地方創生担当副町長の山根でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それではこれより、平成28年度第2回ゆりはま創生総合戦略会議を開催いたします。

まずはじめに、宮脇町長からあいさつをお願いします。

2. 町長あいさつ

(委員)

皆様、こんにちは。大変ご多用のところまた、年末の慌ただしい時期にお集まりいただきましてありがとうございます。

今日は、総合戦略会議ということで進捗状況とかお話し申し上げると思いますが、内容によっては順調に進んでいるものと、例えばCCRCにつきましてはこの間の土曜日に湯梨浜まちづくり株式会社創立となりまして、いよいよ具体的な形で建物の方とかそういうことに動き出すということでございます。全体計画が今年度内ということにしていますから、まずは松崎地区の関係に尽力していくこととなりますが、一方でグラウンド・ゴルフやウオーキングを活用したインバウンドの促進という点では、グラウンド・ゴルフについては、国際的にワールドマスターズゲームズの湯梨浜

町での開催ということが10月26日に決定いたしました、それを受けてこれまでやってきた海外との交流それらを維持しながら、より多くの国に仲間になっていただくことを進めていくことが必要です。ワールドマスターズゲームズにおいては、国際協会の設立を求められております。そのような点でどういうやり方でお金もかなりかかる訳ですし、ちょっと難問を抱えておると。

それからウオーキングを活用したインバウンドの促進の面で、韓国のチェジュとの関係を進めようと思っておりましたけども、友情の道みたいな恰好でお付き合いをしようと思うと、距離が200kmいるというようなお話もございまして、そこで中座していると。このお話はワールド・トレイルズ・カンファレンスがあって、中部地区でウオーキングをとということが目的の一つな訳ですから、その延長線上で中部地区でみんな200km達成できないことはないのでは、既に東のジオパークもそのような観点から進めておられるなどということも感じておりました、そのような困難な点にぶち当たっていることもありますけども、ひとつずつ粘り強く頑張っておいて参りたいなと思っております。

皆さんの忌憚のない意見をお聞かせいただいて、より良い会にしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。

3. 会長あいさつ

(副町長)

ありがとうございました。続きまして山田会長よりご挨拶をお願いします。

(会長)

こんにちは。会議に先立ちまして10月21日に中部の地震がありまして、おそらく皆様が何らかの被災者であり、そして一方でみんなで支援していこうという、そういうきっかけでもあろうと思えます。持ちつ持たれつそしていい地域を作ればいいなと思っております。

さて、戦略会議ですけども、町長から具体的な内容のお話がありましたけども、私自身、頭の整理のために復習をしてみたいと思えますけども、そもそもこの戦略会議という時に、今だんだんどの地方も人口が減ってくる、その中で地方創生をするにはどうしたらいいんだ、という中でまず人口ビジョンを作ろうと、このままほっていくと人口こんなになってしまう。そういう中でいろんな政策をすることによって少なくとも維持を何とか好転できるようなことを考えようじゃないかということで、平成27年に4回の会議をして政策を作り上げました。

その政策という時に、湯梨浜町の場合大きな3つの柱がありました。一つは「活力ある元気なまち」中身は産業だと思えます。そして2つ目は「安心して暮らせるまち」ということで子育てがしやすいとか、地域福祉が充実しているとかという柱。そしてもう一つが「町民みんなが創るまち」というので移住定住であるとかそうした柱。という中でいろんな事業をして、そして事業を作るだけではないなくて、やっぱりきちっとした数値目標を作ろうと。KPIという成果目標を作る。そしてその成果目標がどうであるかというのを、プランして実行してチェックしてさらにもう一度磨きをかけよう、PDCAをやろうということでこの会が始まっているということだと思えます。

そして、27年度やって今年の5月にその進捗状況と一部まだ数値が出ていなかったものがありましたので、そのチェックを今日する。今日はそういう意味では28年度までのチェックをして、

29年度もう少しこの磨きをかければいいんじゃないかという、ご意見をいただきたい。このような会だと思えます。

一応時間をマキシマム2時間、出来ればもう少し短めに終わりたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

4. 平成27年度事業の事業評価について

(副町長)

それでは、本日の委員の欠席の状況について報告させていただきます。

これ以降の進行につきましては、会長にお願ひいたします。

(会長)

それでは、お手元の次第に沿って進めます。まず、平成27年度事業の事業評価についてということで、事務局の方から説明をお願いします。

(室長)

最初に資料1ということで、こちらにつきましては平成27年度の状況についての資料でございます。先般、5月12日に平成28年度の第1回総合戦略会議を開催いたしましたところ、資料の左側の33番と書いてありますが、観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）①、こちらが5月時点ではKPIの数値が未確定でございました。よって今回の会議で報告をさせていただきます。

《観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）①の事業評価を資料に沿って説明》

(会長)

今の説明や数値等について何かご質問やご意見があればお願いします。

これは27年度の数値ですね。

(室長)

はい、27年度です。

(会長)

よろしいですか。それでは、次へ行きたいと思えます。

5. 平成28年度事業の進捗状況と取組状況及び平成29年度事業について

(会長)

平成28年度事業の進捗状況と取組状況及び平成29年度事業について説明をお願いします。

(室長)

お手元の資料2のほうでございます。全体で再掲ということもございますが、全部で111事業でございます。それぞれの基本目標が3つございますので、まずは基本目標Iについてご報告させていただきます。非常に事業数が多いものですから、特に平成28年度から行った事業でありますとか、計画以上に進んでおります事業、また、計画より遅れております事業、そういったものをかい

つまんで報告の方をさせていただきたいと思います。

本日お配りしました資料2の差替えがございますので、ご覧いただければと思います。

事業番号を申し上げる際は、左側の欄外であります、そちらの方に数字が打ってございますので、そちらの数字でもって事業の方をご説明申し上げたいと思います。

《基本目標Ⅰ「活力ある元気なまち」を資料に沿って説明》

(会長)

何かご質問やご指摘があればお願いします。

(委員)

事業の50番「就職関連情報提供事業」ですけれども、これは県外の大学生に就職情報を提供されるということが、なかなか進んでいないということなんですけど、進んでいない理由というのが想像するのに県外にいる大学生の連絡先が分からないとか、対象が特定できないとかということなんでしょうか。

(産業振興課長)

産業振興課長でございます。よろしくお願いいたします。

この就職関連情報提供事業が遅れているということでございますが、2年間に渡って、成人式を利用させていただいて、そこでアンケートを取らせていただいたところです。町としてはこういうような情報があるんだけど、送ってもいいだろうか、どうだろうか、ということをアンケート形式で成人式の参加者に意向を問うたと、いう状況でございます。

ただ、その結果と言いますか、是非送って欲しいという意向が非常に少なかったと、芳しくなかったと、というような状況でございます。以上でございます。

(会長)

よろしいでしょうか。

(委員)

町出身の大学生にちゃんと連絡が取れるような状況があればいいんですけども、もし無ければ私も高校の同窓会長をしているものですから、そういう組織との連携なども考えられるんじゃないかと思ったものですから、同窓会の方で取り組めることがあればと思ったので、そこまではしなくても良い感じでしたね。

(会長)

2つ提案がありまして、一つは今鳥取県が色々な大学と協定を結んでいるんですよ。鳥取県出身者の名簿を県が持っているんで、そこが一つ解き口になるのと。もう一つ、単に情報を提供しても湯梨浜に帰って来るとは思いません。要は、学生時代に鳥取県や湯梨浜でインターンシップみたいなことをやらないと、ここで経験してみても、やっぱりここいいなと思ってもらわないと、情報があるだけでは多分戻ってこないような気がします。

実体験を学生時代からさせることを本気で考えないと、なかなか難しいなと思います。

先ほど観光で40名が来たのは10月21日だったんじゃないですか。どんな具合だったんです

かその時は、番号35番「教育旅行のメニュー開発事業」だったでしょうか。

(産業振興課長)

午前中のごさいますて、地震発生時点では行事が終了していたということのごさいます。

(会長)

その後どうされたのですか、もうお帰りになったのですか。

(産業振興課長)

東部の方に移動されたということです。

(会長)

後だったんですか。

(産業振興課長)

はい。

(委員)

先ほど、会長さんあるいは委員さんからご提案がありましたが、非常に大事なことだと思いますので、来年度の取り組みの中でインターンシップとかそういうことを盛り込むことも検討してみたいなと思っております。それから、先ほど事務局の方から説明がありましたシジミの件で、3ページ15番「種苗放流支援事業」ですが、計画より遅れているということのごさいます、今日、地震の関係の手続きで東郷湖漁協の組合長がみえられて、やっと覆砂なんかも終わりましたよというお話してございますて、稚貝も順調に大きくなっておりまして、生産の方もいいシジミが採れるようになるんではということのごさいました。今年遅くなったということなんです、普通の時期にやりますと朝のうちは漁してらっしゃいますから、午後で半日みたいな恰好になってしましますが、8月から9月にかけて1ヶ月ほど休漁期を設けて、シジミが産卵する時期は採らないということをやっておられますので、その時期に覆砂をやるかということを考えてみようとしておられるようです。

そうすれば、半日でやっていたのが、1日覆砂作業ができるので、期間も短縮できるしそういうことも考えておられるようですので、概ね順調に進んでいると思っております。

(会長)

他にありますか。

(委員)

45番「アメリカ合衆国ハワイ郡との姉妹都市提携を活用した商品開発」ですが、進捗は0になっていますが、これは町としてやっておられるのか、それとも外部と連携してやっておられるのか。そこが分からなかったものですから。

(委員)

アメリカのハワイ郡と姉妹都市提携をやって交流しておりまして、その中で交流の内容を充実させたりということを考える一環で、経済的な結びつきもという話が従前からございますて、いつときアロハシャツを湯梨浜バージョンのアロハシャツ、例えばイチゴや梨やメロンをプリントしたアロハシャツをハワイで作っていただいて、日本に輸入して販売してはどうかと、というようなことも模索してみたんですが、ロットの関係とかありましてちょっと難しいということで、その他でそう

いう類のものが考えられないかなということ、今年来られました郡長の補佐官とハワイ郡議会の議長、それから商工会の会頭あたりも経済的な結びつきについては、非常に関心を持っておられまして、どのような事が考えられるか協議しようということで、お便りもくださっておりましたので、何かまた貴重なご提案でもあれば教えていただければ、私共が考えても難しい面がございまして、うまく結びつけばなと思っておるところです。

(会長)

他にいかがでしょうか。

今度は2つめの柱に移ります。「安心して暮らせるまち」ということで、11ページ以降になるでしょうか。それでは説明をお願いします。

(室長)

《基本目標Ⅱ「安心して暮らせるまち」を資料に沿って説明》

(会長)

今お話しがあった、子育てとか地域福祉とかそうした部門ですが、何かご質問ご意見がありましたらお願いします。

他に出てくるかもしれませんが、合計特殊出生率の現時点を教えていただけますか。

(室長)

昨年、総合戦略を策定いたしました時にご報告させていただきましたのは、2.06ということでした。最新のものは2.04でございます。若干数値的には減ったのはございますが、県下では第1位になっております。人口についても若干触れさせていただきます。先週になります、国勢調査の確定値が報告されました。その中で、本町の人口は16,550人でございます。0歳から14歳の県内の市町村の割合を見ますと、本町は県内で日吉津村に続いて2番目に高い14%でございます。全国平均が12.5%、県民平均が12.9%です。

続きまして、15歳から64歳の割合でございますが、全国平均が60.8%、県平均が57.4%ということでございます。本町はそれぞれの平均より低い56%でございます。ただ、県内の中では5番目に高い数値でございます。

65歳以上の割合でございます。全国平均が26.6%、県平均が29.7%、本町は30%でございます。ただ、こちらも県内の市町村では4番目に低い数値でございます。

(委員)

県平均よりも高いんですね。

(室長)

人口割合でいきますと、鳥取市、米子市の人口割合が高いですから、どうしてもそちらが、鳥取市が26.6%です。15歳から64歳までが60.1%とか、どうしてもウエイトが高いもんですから県平均がそれに近づくということでございます。

(委員)

平均寿命は出てませんか。

(室長)

国勢調査でございますので、平均寿命は調査が違うものですから。

(会長)

人口の増減はどんな感じですか。

(室長)

先回の5年前の調査の人口が17,029人でございます。今回が16,550人ですから479人の減少だというもので、10年前も同じように500人近く減ってきたというところでございます。ちなみに、総人口は鳥取県の中部地域で言いますと、三朝町が6,490人、琴浦町が17,416人ですから本町より若干多いです。北栄町が14,820人というような人口で、減少率は県内の他の町村よりは減少率は低いものという事が言えると思います。

(会長)

何かありましたら、お願いします。

(委員)

合計特殊出生率の話がありましたけども、子育ての関係で湯梨浜町がやっている家庭内保育ですけども、これは湯梨浜とか伯耆とか日南の3つの町が早くやったんですけども、今年あたりから他の市町でもやるところが増えて来まして、直接的には1歳未満の子どもは家庭で育てたほうがいいんじゃないかということと、反射的な利益としては、不足している保育士の数が少なくて済むというような面から、推進してきたものですけども、県の29年度予算で多少やり方は応用力を持つてできるように、市になると財政負担が大変なことになりますから、そういうこともあってですけども、選択して全県下で取り組めるようにとなったようでございます。湯梨浜町のやってきた施策が理解していただいたということでございます。

ちなみに湯梨浜町、去年の1歳から1歳半まで実際の勤務の具合とか、3月一杯まで休んだ方がいいとか、子どもの事を考えてとか、そういう観点から半年間伸ばしたものでございます。

(会長)

他にいかがでしょうか。

では、3番目の柱に参ります。18ページ以降です。

(室長)

《基本目標Ⅲ「町民みんなか創るまち」を資料に沿って説明》

(会長)

いかがでしょうか。

(委員)

若者夫婦・子育て世代住宅支援事業補助金の町外と町内の割合を教えてくださいませんか。43件のうち町外から何件か、町内から何件か。

(室長)

若者夫婦・子育て世代が家を新築されたり、家を購入されたりした方に対して100分の5の補

助割合で上限が50万円で助成をしている補助金でございます。

町外から20件、町内は23件です。町内の23件のうちアパートからの方もいらっしゃいますし、自宅の方もいらっしゃいます。

(委員)

ですからこの施策は、移住についてはかなり効果的な施策だったと言えます。固定資産税で5年ほどすれば元もとれる、そういう格好になっていますから。

(室長)

9月と12月の補正で増額をさせていただきました。と言いますのも、町内の中に民間の造成住宅団地が3か所、4か所あるものですから、そこにお入りの方というのが、ほぼ対象になるような年代の方が非常に多ございます。本年度は3月くらいまでに造成できるような土地を対象としていますし、次年度以降につきましても民間による造成地があろうかと思っておりますので、また消費税増税のほうも伸びたということで、もう少し事業効果があるのかなと感じております。

(会長)

ほかにいかがでしょうか。

77番「生涯活躍のまち」のまちづくり会社の話を補足してお話ししていただけませんか。今どんな状況かとか。

(委員)

先だって、土曜日にまちづくり会社の創立総会を開催しました。役員を決めてその後パーティーをやったんですけども、構成員等については事務局から話させますけど、CCRCをまちづくり会社が主体になって進めていくということになります。取締役社長には町内の建設業者の方に決定いたしました。東郷地域を先に地域の活性化と地域包括のサービスの提供を含めた2つの観点から松崎地域を最初に手掛けていきますので、若い人がトップになってやってくれるんじゃないかというようなお話してお願いして、進めることといたしたところでございます。

基本的には、協力隊の制度を活用して5人、人件費はそちらから出るような形で社員を作って、これから整備します喫茶の部分ですとか色んな部分の収入と、ふるさと納税の事務代行をやってもらって、それを財源としてとりあえず運営していこうと。3年間でだいたい自主運営できるようなところを目標に向かっていくと、いうように思っております。

そもそも生涯活躍のまち推進の全体的な計画を今年度中に作るということで委託契約をしております。まだそれが出来上がっていませんけども、それが出来ればまたミドレークホテル跡地のサービス付高齢者向け住宅の建設の話ですとか、そういったことも遡上によって進めていくというふうに思っております。

(室長)

湯梨浜まちづくり株式会社につきましてですが、出資された皆様は、発起人につきましては本町と株式会社コミュニティネットということで発起人2名で、募集形式によって出資金を募集いたしました。出資総額は1,360万円、資本金は1,100万円、資本準備金は260万円という会社で立上げを行ったところでございます。

出資をいただきました業種的に言いますと、建設業の皆様、商工会員の皆様、福祉関係の皆様、

地元の金融機関の皆様、農協関係の皆様、そういった幅広い皆様方からのご出資を頂きまして会社を設立することができました。

先ほど委員もおっしゃったとおり、主な事業分野としましては当面取り組むものは地域包括ケアの推進、移住の促進、地域の交流拠点の整備と運営、自立型のサービス付高齢者向け住宅の建設に向けた活動、住環境の整備に関する取り組み、ふるさと納税の代行・PR関係等を当面主要分野として事業推進を図ってまいりたいというものでございます。以上でございます。

(会長)

基本的には都会から中高年の方に沢山来てもらおうという時に、中核になる組織がいるだろうというのがこの会社設立の一番大きなところですよ。それに付随して今おっしゃったようなことをどんどんやっていこうと、そういうことでいいですね。

(委員)

相談の受け皿としての要素が大きいと思います。

(会長)

一通りの説明は終わったようですけども、何かご質問なりご意見なりがあれば。

(委員)

さっきの話の中でもちょっと触れておられますけども、移住定住の促進というか特に県外からの人口増という話で、県内各自治体一所懸命取り組んでいるのですけども、その中でも湯梨浜町は高齢者をという取り組みを強くしておられるのですけども、年に一回くらいですか、県内の各市町村の移住定住者の数が出ますよね、あれでは大体湯梨浜町ほどの辺にいるんでしょうかね。多いでしょうか。

(室長)

本町の場合は、県のほうが取りまとめをやっているのですが、県外からお越しになって町民課の方に住所を登録されます。その際に、アンケートをお渡しして、そのアンケートを提出いただいた方のみの数値でご報告しているものですから、数的には非常に少ないです。

(委員)

結局、県が出している数値というのは、分母が揃ってないんです。何年間も私意見を言っていますけども。要するに、極端に言えば県外から転入してこられたものをそのままあげられるところもあるし、私共のようにアンケートを書いてもらって移住であるということを確認しながらやっているところとで、数値が違ってくるんです。だいたい県に言っているんですけど、まだ直っていないようです。そういうことがあります。

(会長)

でも、統一しなくてははいけませんね、今一生懸命人を呼び込もうとしているデータがまちまちでは困っちゃいますね。

ほかにはいかがでしょうか。

事務局補足するようなことはありますか。

6. その他

(室長)

こういった会を年に2回、開催させていただければと思います。

今回が半期での活動状況それから次年度に向けてということでございますので、次回におきましては年度を越えまして、平成28年度の事業結果並びに平成29年度の取り組みについてのご説明をさせていただければという予定でございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(会長)

概ね5月頃でしょうか。数値が色々出てくるということで。PDCAのAに当たるところをやりたいと思ひます。町長何かありますか。

(委員)

今日報告させていただいた事項の中で遅れているという項目もありまして、そのあたり次回までにはちゃんとチェックして掘り起こして挽回するようにみんなで頑張りたいたと思ひます。どうもありがとうございました。

(会長)

どうもありがとうございました。今日はこれで終わります。また5月にいい数値が見れるのを楽しみにしています。